

ISSN 1881-7165

型式論の実践的研究Ⅲ

柳沢清一 編

人文社会科学研究所
研究プロジェクト報告書

第290集

2015年

千葉大学大学院
人文社会科学研究所

型式論の実践的研究Ⅲ

柳沢清一 編

人文社会科学研究所
研究プロジェクト報告書

第290集

2015年

千葉大学大学院
人文社会科学研究所

本研究プロジェクト報告書の一部から著者本人以外が引用を行う場合や、本報告書の内容を参照・利用した場合は、通常の引用・参照方式に則り、必ず出典を明記してください。

ISSN 1881-7165

Practical Study of Typology III

YANAGISAWA Seiichi ed.

RESEARCH PROJECT REPORTS

No.290

2 0 1 5

Chiba University
Graduate School of Humanities and Social Sciences

型式論の実践的研究Ⅲ

目次

子母口式土器の成立に関する一考察 (小笠原永隆) —市原市新井花和田遺跡出土資料の検討—	1 ~ 15
北白川下層Ⅱc式・Ⅲ式土器の変遷 (松田光太郎) 東海・近畿地方における縄文時代前期後葉の土器様相	17 ~ 35
大宮台地における縄紋前期後葉～末葉の様相 (近江哲)	37 ~ 56
六通貝塚の弥生土器 (小林嵩)	57 ~ 60
大石平4段階変遷案再考 (齋藤瑞穂)	61 ~ 82
H = S = マンローの銅鐸 (石橋茂登)	83 ~ 87
小銅鐸同工品の検討 (白井久美子)	89 ~ 98
史料・神事にみる卜占の手法 (國分篤志) —考古資料との比較を中心に—	99 ~ 114
陸中・山田湾文化の8世紀土師器に学ぶ (第2報) (鈴木正博) —人類活動の順序と地域間の連絡・交渉から観た「山田湾式」の出現—	115 ~ 140
墨書土器の難解文字に関する一考察 (友納千幡) —千葉県印旛沼西岸地域の出土事例を中心に—	141 ~ 155
ウトロチャシコツ下遺跡における「貼付紋系土器」編年の再検討 (前篇) (柳澤清一) —未公表資料を中心として—	157 ~ 179
国後島ボンキナシリ遺跡の再吟味 (長山明弘)	181 ~ 196
富津市城山洞穴について (戸谷敦司)	197 ~ 216
容量からみたアナトリアにおけるウンゲントリウムの使用用途の変化 (鈴木慎也) —容量の変化とウンゲントリウムの副葬品化について—	217 ~ 227

ローマ時代調理器具としての CCF-pentola の機能と用途 (岩城克洋)	229 ~ 250
浜中 2 遺跡出土須恵器の産地問題 (三辻利一)	251 ~ 256
北海道標津町伊茶仁ふ化場第 1 遺跡出土鉄斧の金属考古学的調査結果 (赤沼英男)	257 ~ 267
北海道礼文島浜中 2 遺跡出土刀子の金属考古学的調査結果 (赤沼英男)	269 ~ 274

執筆者業績一覧

小笠原 永隆（公益財団法人千葉県教育振興財団）

●発表

2014年「縄紋時代早期子母口式土器について」『千葉大学大学院人文社会科学研究所 2014年度前半期全体研究会』

2014年「産業遺産の保護と活用について」『千葉大学考古交流会例会』

●論文

小笠原永隆 2014「縄紋時代早期子母口式土器に関する一考察－曲線状となる細隆線紋を中心として－」『型式論の実践的研究Ⅱ』（『人文社会科学研究所研究プロジェクト報告書』第276集）千葉大学大学院人文社会科学研究所

小笠原永隆 2014「千葉県の産業遺産とその活用を考える－3か年にわたる講座の実施を通じて－」『千葉県立現代産業科学館研究報告』第20号

松田 光太郎（熊本大学埋蔵文化財調査センター）

●論文

松田光太郎 2014「縄文時代前期土器の突起が示す地域性と交流－関東地方の諸磯b式土器の渦巻突起に着目して」『先史学・考古学論究Ⅵ』龍田考古会

松田光太郎 2014「諸磯式土器における浮線文の発生と北白川下層Ⅱc式土器の成立」『型式論の実践的研究Ⅱ』（『人文社会科学研究所研究プロジェクト報告書』第276集）千葉大学大学院人文社会科学研究所

●書評

松田光太郎 2014「書評 阿部芳郎編『移動と流通の縄文社会史』」『人文社会科学研究所』28号 千葉大学大学院人文社会科学研究所

●発掘調査報告書

松田光太郎他 2014『年報』19 熊本大学埋蔵文化財調査センター（共著）

松田光太郎他 2014『熊本大学構内遺跡発掘調査報告書Ⅹ』熊本大学埋蔵文化財調査センター（共著）

近江 哲（越生町教育委員会）

●論文

近江哲 2014「興津式と、その前後－興津式の細別試論とその問題点－」『型式論の実践的研究Ⅱ』（『人文社会科学研究所研究プロジェクト報告書』第276集）千葉大学大学院人文社会科学研究所

●発掘調査報告書

近江哲・天本昌希・仲村元宏 2014『前原No.2遺跡（E区・F区・G区・H区・I区・J区、本調査第3地点・第4地点）木戸場遺跡（本調査第2地点）』（『公益財団法人印旛郡市文化財センター発掘調査報告書』第328集）

小林 嵩（公益財団法人千葉市教育振興財団）

●発表

2014年「下総における弥生時代中期後半～後期初頭土器編年の再検討」『千葉大学人文社会科学研究所』

科全体研究会』（千葉大学）

2014年「猪鼻城跡周辺の弥生時代」『ちば埋文講座』（千葉市生涯学習センター）

●論文

小林嵩 2014「南羽鳥谷津堀遺跡 A 地点 2 号土器棺墓出土土器の系統と編年の位置－弥生時代後期初頭における地域間交流の一端－」『型式論の実践的研究Ⅱ』（『人文社会科学研究科研究プロジェクト報告書』第 276 集 千葉大学大学院人文社会科学研究科

小林嵩 2014「下総から前中西遺跡を考える（予察）」『熊谷市前中西遺跡を語る－弥生時代の大規模集落－』考古学リーダー 23 六一書房

小林嵩 2014「下総における弥生時代中期後半～後期初頭土器編年の再検討」『古代』第 133 号 早稲田大学考古学会

小林嵩 2014「書評 比田井克仁『古墳出現期の土器交流とその原理』（2004 年）」『千葉大学人文社会科学研究』第 28 号 千葉大学人文社会科学研究科

●発掘調査報告書（共著）

千葉大学文学部考古学研究室編 2014『北海道礼文町 浜中 2 遺跡 第 3 次発掘調査概報』

千葉大学文学部考古学研究室編 2014『北海道中標津町 当幌川遺跡 第 2 次発掘調査概報』

齋藤 瑞穂（新潟大学）

●論文

齋藤瑞穂 2014「越後山古志の近世漆器－平成 16 年新潟県中越地震の救済資料から－」『新潟史学』第 71 号 新潟史学会

齋藤瑞穂 2014「勒鳥式細別編年試案」『古代』第 135 号 早稲田大学考古学会

齋藤瑞穂 2014「紹介 奥村弘編著『歴史文化を大災害から守る－地域歴史資料学の構築』」『歴史評論』No.775 校倉書房

齋藤瑞穂 2014「三陸海岸で検出された津波イベント堆積物の年代と遺跡の消長－岩手県域を中心に－」『2014 年前近代歴史地震史料研究会講演要旨集』前近代歴史地震史料研究会・新潟大学災害・復興科学研究所危機管理・災害復興分野

齋藤瑞穂 2014「山田湾沿岸地域の弥生土器－弥生三陸地震津波の実態を復原するために－」『山田湾まるごとスクールのしおり』山田湾まるごとスクール事務局・新潟大学災害・復興科学研究所危機管理・災害復興分野

石橋 茂登（独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所）

●著作

石橋茂登 2014『大和の美仏に魅せられて』飛鳥資料館カタログ第 31 冊 飛鳥資料館

●論文

石橋茂登 2014「山田道」『明日香風』132 号 公益財団法人 古都飛鳥保存財団

石橋茂登 2014「飛鳥資料館「発見三〇周年記念 キトラ古墳壁画特別公開」」『月刊文化財』613 第一法規

石橋茂登 2014「高松塚古墳 版築」「キトラ古墳 版築」「高松塚古墳 地震痕跡」『はぎとり・きりとり・かたどり』飛鳥資料館図録第 61 冊 飛鳥資料館

石橋茂登 2014「大官大寺下層（大官大寺第 3 次調査）」『飛鳥の考古学 2014』飛鳥資料館カタログ第 32 冊 飛鳥資料館

白井 久美子（公益財団法人千葉県教育振興財団）

●発表

2014年「海人の首長墓—安房の海食洞穴墓をめぐって—」『第19回 高知県考古学研究会』高知大学

2014年「古代国家形成期の東京低地—上総・下総地域の様相—」『平成26年度地域史フォーラム 地域の歴史を求めて』葛飾区郷土と天文の博物館

2014年「物井の古墳」『平成25年度千葉県教育振興財団講演会』四街道市文化センター

2014年「龍角寺浅間山古墳の時代」『千葉県文化財保護協会文化財講演会』千葉県立中央博物館

2014年「房総の邪馬台国時代」『平成26年度リレー塾「房総に邪馬台国を追う」』ポートプラザ千葉

2014年「古代日本の女性首長」『公開講座』朝日カルチャーセンター千葉主催

2014年「古墳時代のマツリ」『考古学講座』房総のむら資料館

2014年「石枕と死者のマツリ」『古墳時代の石枕』市津公民館講座

2014年「古墳と古代王権」『早稲田大学オープンカレッジ』早稲田大学エクステンションセンター

●論文

白井久美子 2014「前方後円墳の理解」『型式論の実践的研究Ⅱ』（『人文社会科学研究科研究プロジェクト報告書』第276集 千葉大学大学院人文社会科学研究科

白井久美子 2014「古墳時代前期の石枕の系譜—新庄天神山古墳例を中心に—」『土筆』第11号 土筆舎

國分 篤志（株式会社島田組）

●論文

國分篤志 2014「弥生時代～古墳時代初頭のト骨—その系譜と消長をめぐって—」『型式論の実践的研究Ⅱ』（『人文社会科学研究科研究プロジェクト報告書』第276集 千葉大学大学院人文社会科学研究科

鈴木 正博（NPO法人 野外調査研究所）

●論文（単著）

鈴木正博 2014「陸中・山田湾文化の八世紀土師器に学ぶ—物語的鑑賞という演繹から年代的系統的秩序という帰納への転換を目指して—」『型式論の実践的研究Ⅱ』（『人文社会科学研究科研究プロジェクト報告書』第276集 千葉大学大学院人文社会科学研究科

鈴木正博 2014「奥東京湾方面の「栗林式縁辺文化」に学ぶ—考古年代を求め、先史集落を探り、古地域の文化動態に迫る先史考古学の回廊—」『古代』第133号 早稲田大学考古学会

鈴木正博 2014「「防災・減災考古学」から観た船越半島の縄文土器ガイド」・「山田湾に出現した古代蝦夷と貞観三陸地震までの土師器」『山田湾まるごとスクールのしおり』山田湾まるごとスクール事務局・新潟大学災害・復興科学研究所危機管理・災害復興分野

友納 千幡（千葉大学大学院人文社会科学研究科博士後期課程）

●発表

2014年「千葉県の古代竪穴建物における無柱化現象について—九十九里地域および印旛沼地域を中心に—」『千葉大学考古交流会例会』

柳澤 清一（千葉大学）

●論文（単著）

柳澤清一 2014「「香深井 1(A) 遺跡における「オホーツク式」年代観の改訂－異系統土器の「混在」と「共伴」の狭間から－」『型式論の実践的研究Ⅱ』（『人文社会科学研究科研究プロジェクト報告書』第 276 集 千葉大学大学院人文社会科学研究科

柳澤清一 2014「北方編年再考 その(12) 擦紋Ⅱ・Ⅲ期における通説「道東」編年の検証－トコロチャシ遺跡の新「共伴」資料に触れて－」『千葉大学人文研究』43

柳澤清一 2013「道北編年再考 その(5) 紋別・枝幸・稚内における「オホーツク式土器」と擦紋土器の編年－道北・道東「地域差」編年説の見直し－」『古代』第 132 号 早稲田大学考古学会

長山 明弘（千葉大学）

●著作

長山明弘 2014『加曾利 E（新）式土器研究の歩みと針路－土器論を基礎とした先史文化の研究に向けて－』千葉大学考古学研究叢書 6 那珂川書房

●論文（単著）

長山明弘 2014「「カリカリウス土器群」の編年と当幌川遺跡出土土器の再検討」『古代』第 134 号 早稲田大学考古学会

戸谷 敦司（白井市教育委員会）

●論文

戸谷敦司 2012「印旛沼地域の水域変化」『千葉大学文学部考古学研究室 30 周年記念 考古学論攷 I－岡本東三先生退職とともに－』六一書房

鈴木慎也（二松學舎大学附属柏高等学校）

●論文

鈴木慎也 2012「ヘレニズム時代のトロアス地域におけるウンゲントリウムの出現と展開－ダルダノス（Dardanos）墳墓とテネドス（Tenedos）の墓地を例として－」『千葉大学文学部考古学研究室 30 周年記念 考古学論攷 I－岡本東三先生退職とともに－』六一書房

岩城 克洋（東京大学）

●論文（単著）

岩城克洋 2014「イタリア半島中部におけるローマ期 CCF - 壺系 olla の研究」『古代』第 132 号 早稲田大学考古学会

岩城克洋 2014「ローマ時代調理器具としての CCF-coperchio の機能と用途」『型式論の実践的研究Ⅱ』千葉大学人文社会科学研究科研究プロジェクト報告書 第 276 集

三辻 利一（鹿児島国際大学）

●論文（共著）

三辻利一・福田友之・工藤大 2014「縄文土器の蛍光 X 線分析事始め：埴渡遺跡出土縄文土器の蛍光

赤沼 英男（岩手県立博物館）

●発表

2014 年「カマン・カレホユック前期青銅期時代出土資料の組成からみた鉄・鉄器生産活動」『第 25 回トルコ調査研究会』三鷹市芸術文化センター

2014 年 Takeda A, Akanuma H* & Tsuchiya N : Technique for making the ground coating used in the production of tsuishu jikiro lacquerware. 2014 IIC Congress, September, 2014, Hong Kong

2014 年「陸前高田市被災民俗資料の安定化処理と抜本修復—生業用具および民俗芸能用装身具を対象にして—」日本文化財科学会第 31 回大会（奈良教育大学・共同発表）

2014 年「津波被災資料の安定化処理—陸前高田市立博物館の取り組み—」文化財保存修復学会第 36 回大会（明治大学・共同発表）

2014 年「陸前高田市被災民俗資料の安定化処理と修復—高田人形—的—陣笠について—」文化財保存修復学会第 36 回大会（明治大学・共同発表）

2014 年「陸前高田市立博物館染織資料修理経過報告」文化財保存修復学会第 36 回大会（明治大学・共同発表）

●論文

赤沼英男 2014「被災蔵手刀からみえてきた鉄の物質文化交流」考古学ジャーナル 662 号

●発掘調査報告書等

赤沼英男 2015「紙を素材とする文化財の安定化処理」『大津波被災文化財保存修復技術連携プロジェクト 安定化処理』津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と専門機関の連携に関するプロジェクト実行委員会（分担執筆）

赤沼英男 2014「ヲチャラセナイ遺跡出土コイル状鉄製品の金属考古学的調査結果」『厚真町 ヲチャラセナイ遺跡』厚真町教育委員会編

赤沼英男 2014「オニキシベ4遺跡出土環状金属製品の自然科学的調査結果」『厚真町 オニキシベ4遺跡』厚真町教育委員会

型式論の実践的研究Ⅲ（2014年度）

千葉大学大学院人文社会科学研究科
研究プロジェクト報告書 第290集

Practical Study of TypologyⅢ

Chiba University
Graduate School of Humanities and Social Sciences
Research Project Reports No. 290

編者 柳澤清一

平成27(2015)年2月28日発行

発行 千葉大学大学院

人文社会科学研究科

印刷 勝美印刷株式会社